

「レクリエーションスポーツ教室インドアペタンクについて」
石塚 弘美（光華小地区・1期目）

毎年7月から9月の6日間、それぞれ3人が「インドアペタンク」の指導を行っています。会場は国立市の東京都多摩障害者スポーツセンターです。私は2年目で完全にはルールを覚えきれず、指導者として不安もありましたが、利用者は数年経験しているベテランの方が多く、私が教えてもらおうという場面もありました。

私たちがさえ、直径7センチ余りで少し重さを感じるボールをピュットに近づけられなかったり、外に出てしまったり、と力の入れ具合が難しいところですが、経験者の方はコントロールもあり、とても上手でした。初心者の車椅子の方は、初めはなかなか真つすぐ投げられなかったのですが、繰り返し返すとコツもつかんでの近くまで投げられるようになります、とても良い笑顔で「楽しくなってきたよ」と言っていました。

きっとこれからも続けてくれ

ることを願いながら、無事終わって片づけをしました。廊下に出ると何人かが残っていたので声をかけると、次の運動をするから待っているとのことでした。前向きに楽しく運動されていて、うれしくもあり、感心して頭が下がる思いでした。



「第64回昭島市民体育大会
開会式」

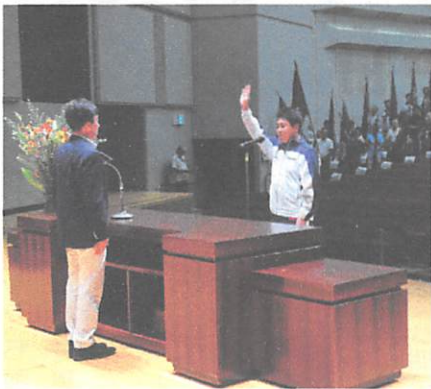
蘭田 有司（拜一小地区・6期目）

去る9月3日（日）午前10時から、KOTORIホールで第64回昭島市民体育大会開会式が行われました。

市民体育大会は、20ブロック、14会場で行われる「自治会ブロック別大会（運動会）」と、昭島市体育協会加盟23団体の「種

目別大会」から成っています。開会式は、昭島市青少年吹奏楽団の行進曲の下、第1ブロックを先頭に第20ブロックまでが続き、次に体育協会旗に続き25団体が入場しました。各ブロック・競技団体の入場の際は、客席に座った選手も起立し、大きな拍手と声援が沸き起こりました。

小林一己昭島市教育委員会
教育長の開会宣言から始まって、臼井伸介市長の大会会長挨拶と続き、主管団体の挨拶、来賓祝辞、大会開会宣言がありました。今年度の選手宣誓は、昭島市クレー射撃協会の田村選手（昨年度の国体優勝メンバーの一人）が力強く行いました。また、我々スポーツ推進委員



は、開会式の運営スタッフとして様々な役割を果たしました。3年後の2020東京オリンピック・パラリンピックには、昭島市出身の選手を応援したいものです。

平成29年度上半期の主な活動

4月◎ 日帰り研修

5月◎ 第28回歩け歩け運動
○ 昭島チャレンジデー

6月○ 親子ふれあいスポーツデー
（玉川小）
△ 立川市・昭島市実技交流会

7月◎ 広域地区別実技研修会

8月○ レクリエーションスポーツ教室

9月○ 市民大会開会式

○ 親子ふれあいスポーツデー
（拜島第二小）
△ 広域地区別研修会（国立市）

◎ 企画運営 ○ 役員等協力 △ 参加
編集後記

厳しかった暑さもようやく収まり、朝夕は秋の気配を感じるようになりました。10月に入ると運動会をはじめ、スポーツイベントも多くなります。無理なく体を動かし、スポーツを楽しみましょう。

編集委員 川口・石川・松尾

和田・岡川・牧